

ご卒業おめでとうございます

3月は市内各学校、幼・保・認定こども園で卒業式が行われました。卒業し、新たなスタートを切る若者へのエールを込めて、市内3高校の卒業の日に在校生・先生から贈られた黑板アートをご紹介します。



小林高等学校



小林秀峰高等学校



小林西高等学校

不安な思いをした一年でした。それでも小林で培った知性と素養に磨きをかけ、自分の目標に向かって大きく羽ばたく皆様に応援しています。

ワーケーションとは、「ワーク」（仕事）と「バケーション」（休暇）を組み合わせた造語。会社員などが、休暇などで滞在する観光地や帰省先などで働くことを意味し、仕事と休暇を両立させる働き方として注目されています。

コロナ後を見据えた新しい滞在型観光の創出・検証を行うため、小林地区（生駒高原）と須木地区で2つのモニター事業が実施されました。



新たな旅行スタイル「ワーケーションリゾート」創出へ アウトドア・ワーケーション リゾート in 生駒高原

星のふるさと日本一の小林市で、ワンランク上のグランピング&ワーケーション体験。

小林まちづくり株式会社は、市と株式会社ANA総合研究所などと共同で、2月19日～2月21日にかけて、『アウトドア・ワーケーションリゾート in 生駒高原』を実施しました。

県内からの5組17人の参加者は、生駒高原の多目的広場に設置された宿泊用のテントや、レストラン・バーラウンジを兼ねた大型テントに滞在。

小林の食材を活かしたコース料理や、星のソムリエによる天体観測会、湧水めぐり、大幡山トレッキングなど、生駒高原周辺の自然環境を活かしたプログラムを体験しました。

また、会場にはWi-Fi環境などが整備されたコワーキング用のテントも設置され、参加者は「ワーク」と「リゾートライフ」を満喫しました。



コース料理を楽しむ参加者



生駒高原周辺の自然を体感

須木の魅力を活かして新たな人の流れを創出

かるかやを拠点とした ワーケーションモニターツアー

須木地区の文化や生活などの地域資源を有効に活用し、新たな人の流れを創出。

市と小林まちづくり株式会社は、3月1日～3日にすきむらんど「かるかや」を拠点としたワーケーションのモニターツアーを実施しました。

ツアーには、宮崎市内の事業所から4人が参加。今年2月に無線LAN環境が整備された「かるかや」に滞在し、テレワークに取り組みました。

また、体験プログラムでは、地元猟師と一緒に山に入り狩猟を見学する「狩猟体験」や、地元住民との「柚子胡椒・かるかんづくり」、地元の名人直伝の「そば打ち体験」など、須木地区の人やモノの魅力を活かしたプログラムに参加。

参加者は、日常から離れて須木の自然の中での仕事や体験を楽しみました。



名人指導のもとそば打ちに挑戦



夜は囲炉裏を囲んで猟師めし